

1. 学年・教科・単元名 4年 特別活動

2. 実践者（所属） 片岡 義順（岡上小学校）

3. 使用する機器・メディアなど

入 力		ソフト, コンテンツ	出 力	
<input type="checkbox"/>	教材提示装置	Web サイト ()	<input type="checkbox"/>	50 インチ大型テレビ
	コンピュータ			電子黒板
	デジタルカメラ	PC ソフト ()		プロジェクタ
	SD カード			プリンタ
	デジタルビデオカメラ	活用放送番組 NHK 学校放送番組 「カラフル」～本当はケ ンカしたくない～		
<input type="checkbox"/>	DVD プレイヤー		<input type="checkbox"/>	
	その他 ()			

4. ICT 活用のねらい（資料「教育の情報化に関する手引」文部科学省 2009 年）

教師が活用する場面		児童が活用する場面	
	興味・関心を高めるため		情報を収集・選択するため
<input type="checkbox"/>	課題を明確につかませるため		文章, 表や図にまとめるため
	わかりやすく説明したり, 児童の思考や理解を深めたりするため	<input type="checkbox"/>	わかりやすく発表したり表現したりするため
	知識の定着を図るため		知識の定着や技能の習熟を図るため

5. 学習活動の流れ

学習活動（45分）	ICT 活用の留意点等
1. 番組の視聴。 2. 番組の感想を自由発言する。 3. 番組についての感想をワークシートに記入する。 4. 感想交流をする。	<ul style="list-style-type: none"> 番組視聴中は番組に集中できるように, 机上には何も置かないよう声かける。 視聴前に視聴後感想交流をすることを伝えておき, 視聴する目的や視点を明確にしておく。 ワークシートに感想画を書いている児童の作品は教材提示装置で紹介していく。

6. 実践のポイント

- ・クラスのトラブルが絶えない時に実際に起こった問題に対して子ども達自身で冷静に考えて意見を出し合うのは困難なことがある。そんな時, 客観的な映像(=番組)の視聴を通して, 子ども達の考えを交流させ, 番組に出演している児童に対して受容的・共感的に受け止めたり批判的に受け止めたりしている考えを出し合わせる。番組の活用を通して子どもたち同士の思いを意見交流し, 自分のクラスに置き換えることで, クラスの課題を共通理解することにつながっていく。今回の番組に限らず「カラフル」は, 実際に努力したり苦悩したりしている子どもの姿を題材にした構成になっている。クラスの実態やニーズに応じた番組の活用が考えられる。